



手動のアップグレード前の検証

-
- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [クラスタのストレージ容量の確認 \(1 ページ\)](#)
- [Net.TeamPolicyUpDelay のデフォルト値の確認と設定 \(1 ページ\)](#)

概要

この項では、[Hypercheck: アップグレード前チェック ツール](#) で説明されている Hypercheck ツールを実行できない場合のアップグレード前の手動検証について説明します。これらのチェックを手動で実行するよりも、Hypercheck を実行することを強く推奨します。

クラスタのストレージ容量の確認

シスコは、Cisco HX データ プラットフォームの既存のインストールのアップグレードを開始する前に、クラスタ ストレージ容量をチェックすることをお勧めします。クラスタ内のストレージ使用率が 70% を超える場合、アップグレードの検証は失敗します。

クラスタストレージ容量をチェックすることの背景の詳細については、『[Cisco HyperFlex データプラットフォーム管理ガイド](#)』の [HX ストレージクラスタの概要](#) の章を参照してください。

Net.TeamPolicyUpDelay のデフォルト値の確認と設定

ファブリック インターコネクットのレポート中にストレージ アクセスが失われなくするには、UCSM インフラストラクチャのアップグレードの前にこのチェックを実行します。

3.0(1)、3.5(1)、3.5(2)、4.0(1)、4.0(2) へのアップグレードでは、ESXi host Net.TeamPolicyUpDelay のデフォルト値が 30000 に設定されている必要があります。次の手順を実行して確認し、必要に応じて、ESXi host Net.TeamPolicyUpDelay のデフォルト値を 30000 に変更します。



(注) この変更によって ESXi ホストをリブートする必要はなく、リブート後も維持されます。

- ステップ 1** vSphere Web クライアントナビゲータから、各 [ESXi Host (ESXi ホスト)] > [Configure (設定)] > [System (システム)] > [Advanced System Settings (詳細なシステム設定)] をクリックします。
- ステップ 2** [Advanced System Settings (詳細なシステム設定)] で、[Net.TeamPolicyUpDelay] までスクロールダウンします。
- ステップ 3** 必要に応じて、値を 30000 に変更します。デフォルト値は 100 です。
- ビルド 16075168 以下の ESXi 6.7 バージョンの場合、クラスタ内の各 ESXi ホストに SSH で接続します。
 - netdbg vswitch runtime set TeamPolicyUpDelay 30000** を実行します。
 - netdbg vswitch runtime get**, を実行して設定を確認し、**Net.TeamPolicyUpDelay** が 30000 と同等であることを確認します。
 - この設定は、ESXi ホストの再起動後に保持されないため、ESXi local.sh ファイルにコマンド **netdbg vswitch runtime set TeamPolicyUpDelay 30000** を追加してください (VMware KB <https://kb.vmware.com/s/article/2043564> を参照)。
-